

2006年度「イも食べてぷー」アグリガーデン活動報告

【企画】

「カラカサンエンパワーメントセンター（略称：カラカサン）」の子どもたちが、サツマイモを植付け、育て、収穫して食べるまでの体験や自然の中での遊びを通して、地域の人々と交流する多文化共生のアグリガーデン(体験農園)を企画

今回は、当研究会が企画・実施の事務局を担い、カラカサンが子どもたちの自立支援や心のケアを目的の子どもプロジェクト活動の場として実施。

【実施体制】

- ・企画調整、維持管理、運営・・・NPO法人幸まちづくり研究会（略称：まち研）
- ・参加対象・・・フィリピン移住女性の自立支援とその子どもたちの自立支援や心のケアを目的に活動する団体「カラカサン」
- ・協力・・・NPO 法人川崎水曜パトロール（略称:水パト）

【活動内容】

- ① 5月13日（土）10:30～14:00 サツマイモ苗の植付け、遊び
 - ☆ 雨天のため日吉市民館分館の調理室で、協力団体のNPO法人川崎水曜パトロールの会とトン汁作りや竹とんぼ作りを子どもたちがいっしょにすることで交流が深まった。小雨になったので帰り道ガーデンにより、前日に植えたさつまいもの苗を観察した。
- ② 7月15日（土）16:00～18:00 草取り、自然の中で遊ぶ
 - ☆ 生育状況観察・・・講師：佐々木聖一郎（まち研）
 - ☆ 自然の中で遊ぶ・・・講師：水パトの方々
- ③ 9月16日（土）10:00～14:00 草取り、水遣り、看板・かかし作り
 - ☆ 観察会・・・講師：佐々木聖一郎（まち研）
 - ☆ クラフト作り・・・講師：柳下弘子（まち研）
 - ☆ バーベキュー・・・カラカサン（水パトが土曜日都合悪くなったため）
- ④ 11月 3日（金）10:00～13:00
 - ☆ 収穫祭・・・トン汁:まち研、おにぎり飲み物等:カラカサン
 - ☆ 参加者・・・カラカサン子ども19人、大人10人
まち研から4人

【感想】

幸区は川崎市内でも外国人市民が多く住むまちです。子どもたちは、「農」体験だけでなく、地域に住む水パトやまち研の人などと一緒に食べる・遊ぶことを通して信頼関係が深まり、多文化共生のまちづくりの交流の場となっている。課題は、ボランティアスタッフの確保。